

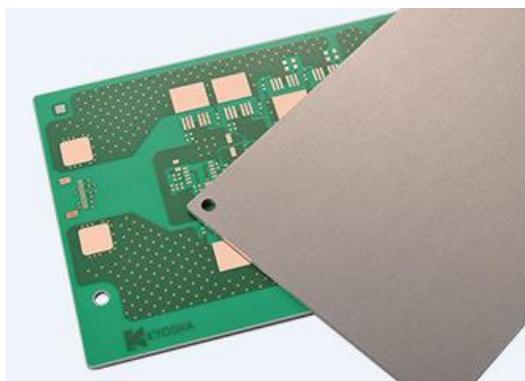
新商品の「金属基板」は、ベースがアルミや銅で出来ており、熱伝導率が高い製品です。

この特性から自動車向け LED ヘッドライトや高光度の LED 照明などの高い熱を発する製品の放熱に使用されており、需要が増加しています。

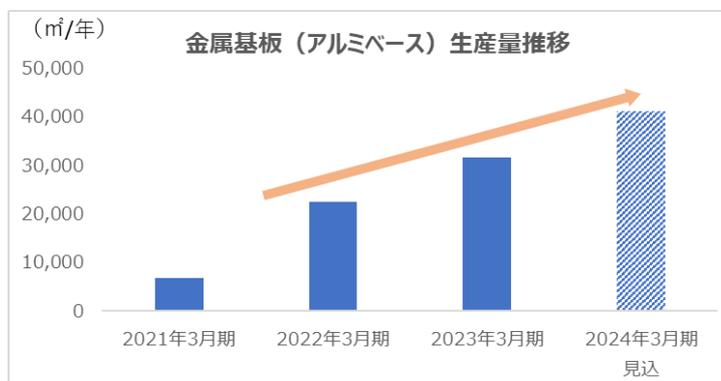
金属基板は、金属板に絶縁層と銅箔を積層したもので、片側のみに配線パターンがあり、構造は当社の主力製品である片面プリント配線板と同じであるため、グループ最大の片面プリント配線板の生産拠点である中国工場に自動化生産ラインを構築し、量産を開始しました。

当社の金属基板はアルミベースで、コア技術である「スクリーン印刷」を用いており、他社製法の「写真法」と比べ約2倍の生産性があり、印刷精度も写真法と同等の品質を実現していることから、高い競争力がある商品となっており、順調に生産量を拡大させています。現在は中国工場での生産が中心ですが、今後は、九州工場での量産も計画しています。

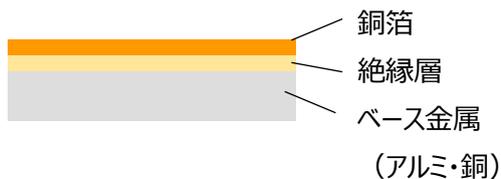
また、市場拡大が期待されているパワー半導体向けの厚銅基板も金属基板の一種のため、開発に注力しています。



金属基板（アルミベース）



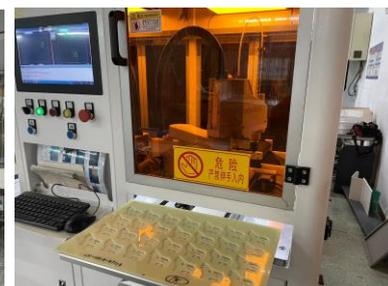
金属基板の構造



中国工場の金属基板生産設備



自動精密印刷機



耐電圧試験機・自動ロボット

中国工場の概要

会社名	Guangzhou Kyosha Circuit Technology Co., Ltd (京写広州)
所在地	中華人民共和国広東省広州市南沙区
設立年月日	1994年6月3日
資本金	80,000千HK\$
敷地面積	34,625 m ²
生産能力	片面プリント配線板 220,000 m ² /月 (内 金属基板 10,000 m ² /月) 銀スルーホールプリント配線板 40,000 m ² /月